

(平成29年7月18日)

部等名

企業局

件名	平成28年度山梨県公営企業会計決算概要について（報告）
経緯	1 地方公営企業法第30条第1項の規定に基づき、管理者は平成28年度企業局3事業の決算を調製し、平成29年5月31日、知事に提出する。 2 監査委員への概要説明は、7月26日に行う。 3 本決算は、監査委員の審査を受けた後、定例県議会の認定に付される。
内容	企業局が経営している、電気、温泉及び地域振興の3事業の決算の概要は、次のとおりである。 1 電気事業 (1)業務実績 早川及び笛吹川水系、塩川、小水力の23発電所で、4億7,106万キロワットアワーの電力を供給した。天科発電所水車発電機改修工事による発電所の長期停止等により、前年度に比べ9.7%減少した。 (2)損益状況 収益は、畑地かんがい事業や上水道との共用施設の工事完了に伴う管理費負担金収入等の減少により、前年度に比べ1億17万円減の38億6,916万円となった。 費用は、柚ノ木発電所修繕工事等の完了による修繕費の減少等により、前年度に比べ2億6,349万円減の30億2,928万円となった。 その結果、純利益は、前年度に比べ1億6,332万円増の8億3,988万円となった。 2 温泉事業 (1)業務実績 県営温泉は、6本の源泉から給湯契約数506口に対し77万7,411m ³ の給湯を実施した。旅館・ホテル等の経費削減対策等の影響による使用量の減少により、前年度に比べ2.7%減少した。 (2)損益状況 収益は、給湯量の減少等により、前年度に比べ268万円減の1億4,375万円となった。 費用は、温泉施設改修工事に伴う撤去費等の増加により、前年度に比べ4,757万円増の1億6,116万円となった。 その結果、1,741万円の純損失となり、平成12年度以来16年ぶりの赤字となった。なお、改修工事に伴う一時的なものであり、平成29年度は黒字の見込みである。 3 地域振興事業 (1)業務実績 丘の公園を指定管理者制度及び利用料金制により管理運営した。平成28年度の有料施設利用者数は22万6,181人で、冬季の集客策を強化した結果、前年度に比べ1.2%増加した。 (2)損益状況 収益は、指定管理者納入金1億5千万円を含む1億5,108万円、費用は、修繕費の増加により、前年度に比べ239万円増の1億4,732万円となった。 その結果、純利益は、前年度に比べ250万円減の376万円となった。

(お問合せ先：企業局総務課長 櫻井 内線5910 直通055-223-5382)